

# 電子化の展望

～キャッシュレス化について～



近年の日本では、クレジットカード、電子マネー、スマートフォン、デビットカードなど、現金を使わずに決済する人が増加する傾向にあります。具体的なもので言うと、通販やネット予約でのクレジットカード払いや、電車賃の電子マネー（ICOCA・Suica等）払いなどが挙げられます。

世界ではコンビニやスーパーに加え、飲食店やホテル、カラオケボックスなど、多岐に渡る業種で、無人店舗でのキャッシュレス化が進んでおり、交通機関の券売機なども基本的に現金投入口はなく、別で現金専用の窓口が設けられています。また、近年では手に埋め込まれたマイクロチップによる決済も普及しつつあります。

## キャッシュレス決済のメリット・デメリット

メリット	現金を持ち歩く必要がないので、路上でのひったくり等の犯罪防止になる	帳簿をつけなくても、カード明細で履歴を確認出来るので現金管理がしやすい	ポイント還元でお得に買い物ができる
デメリット	店舗によっては支払い方法が限られている	基本的にはお店負担だが、別で決済手数料がかかる可能性がある	現金の使い過ぎや、必要なきに現金がない場合がある

## その他会計・税務の電子化

- ◆クラウド会計を導入・運用する上では、銀行の通帳やクレジットカードを登録しておけば、収入や支出が経理データとして自動で取得され、さらに整理されたうえで取引データとして登録されるので、入力の手間が省けます。
- ◆平成31年1月からスマートフォンで電子申告による確定申告が可能になるとされています。
- ◆平成32年4月1日以後開始事業年度より、資本金1億円超の大法人は法人税及び消費税、地方税では法人住民税及び法人事業税の電子申告が義務化となります。

ご不明点等ございましたら、お気軽に弊所担当者にご相談ください。

(文責 谷口 敬亮)